



お茶の間PRESS

愛知県議会

令和3年11月定例会は12月16日開会。
新型コロナウイルスの克服に向け、47議案を可決成立！

11月29日に提出された補正予算は1,700億円を超える減額。これは医療機関におけるコロナ病床を確保するための補助金173億円の増額をはじめとした県政推進に必要な予算を200億円程度増額したものの、コロナ対策の一環として実施した「愛知県感染防止対策協力金」について申請実績に基づき1,900億円程度減額したもの。また条例案が18件と、12月13日には新型コロナウイルス関係のPCR検査無料化や、3回目のワクチン接種に向けた大規模集団接種会場の開設運営経費や燃油価格高騰対策などを盛り込んだ総額868億29百万円の補正予算が追加提案され、合計で47件の議案について審議し、可決成立。

TOPICS 「愛知県議会教育・スポーツ委員会」より
2023年度入試から公立高校の入試制度が変わる！

愛知県の公立高校では、2023年4月に入学する人が受験する入試から、新しい制度になる。一般選抜で2校に出願できるのはこれまで通りだが、学力検査は1回に。また、推薦選抜などの時期が早まって2月上旬となり、一般選抜の合格者発表もこれまでより早くなる。さらに、高校や学科の特色を生かした「特色選抜」が導入される。

高橋 正子
令和3年9月定例会
〈一般質問〉



QRコードを読み取ると「本会議録画映像」が見られます。

検索 愛知県議会 本会議中継

▼本会議中継：トップページ

議員名から選ぶ ▶高橋正子

「住みやすさなら、愛知が一番！」

コロナ禍で「東京一極集中」に陰りが見え始めた中で、本県の移住定住促進策について。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、20年以上にわたりあらゆる政策の力でさえも止めることのできなかった「人口の東京一極集中」は、コロナ禍にさらされたこの一年半であっけなく流出に転じた。東京23区に住む若い世代の5割近くが地方移住に関心を持っているという。まさに東京一極集中を是正し、愛知への人の流れをつくるチャンスの到来だ！本県ではこれまでも、愛知の強みや魅力、「住みやすさ」を発信してきたが、コロナ禍で「東京離れ」が進むだからこそ、『愛知へ移住』そのトレンドを加速させるために、愛知の住みやすさや魅力を一元的に発信するPR戦略をさらに強化する必要があると考えるが？

【県当局答弁】

本年8月から、名古屋よしもとに所属する芸人が市町村の魅力を紹介するユーチューブ動画を一宮市をはじめ15の市町村で配信を開始。さらに「愛知の住みやすさ発信サイト」による情報発信を強化し、「自分に合った愛知のライフスタイル診断」コーナーの新設や検索順位を上げるための改修などを行う。さらに、移住に興味や関心のある方々が、「仕事」や「住まい・暮らし」、「結婚・子育て」などのカテゴリ別に、県や市町村ごとの様々な施策にアクセスできるよう工夫していく。

愛知の魅力、住みやすさが一目でわかる！2021年12月16日から配信スタート！
「愛知の住みやすさ発信サイト」をイメージ新！本県への移住促進につなげるため、県と市町村で行っている情報を一元化に発信する「愛知県移住・定住ポータルサイト」を新設。
<https://www.pref.aichi.jp/chiho-sosei/sumiyasusa/>



愛知県議会議員 高橋正子（一宮市選出）

●プロフィール

昭和57年3月 愛知学院大学法学部卒業、日刊一宮タイムス編集部に入社
昭和63年8月 一宮タウン情報誌「EGG」を創刊、編集長
平成12年2月 南お茶の間通信社を設立、代表取締役
平成15年4月～ 愛知県議会議員に初当選、現在5期目

■令和3年度所属委員会

○常任委員会／教育・スポーツ委員会

○特別委員会／行政改革・地方創生調査特別委員会

■愛知県議会議員おもな役職・職務実績

平成19年5月～20年5月 民主党愛知県議会議員団政務調査会長
平成21年5月～22年5月 愛知県議会健康福祉委員会委員長
平成24年5月～25年5月 民主党愛知県議会議員団幹事長
平成25年5月～26年5月 名古屋港管理組合議会監査委員
平成26年5月～27年5月 民主党愛知県議会議員団副団長
平成27年5月～28年5月 産業振興・環境対策特別委員会委員長
平成29年5月～30年5月 名古屋競輪組合議会議長
平成30年5月～令和元年5月 新政あいち県議団副団長
令和2年5月～令和3年5月 新政あいち県議団副団長

DV被害者の増加は女性ばかりではなく男性も！

「男性DV被害者」が増加する現状下における、本県の相談支援について

一般的に、DV被害者の8割は女性だが、男性被害者も2割ある。愛知県警によると、男性DV被害者の件数は、15年前の平成18年の男性被害者は0.4%にあたる5件だった。それがこの令和元年には男性DV被害者は1,353件で270倍に跳ね上がっている。こうした状況の中、愛知県では平成30年から「男性DV被害者ホットライン」を開設し、配偶者からの暴力暴言に悩む男性の相談業務をスタートさせた。ところが、そこには男性が抱える特有の意識「男のくせに情けない」といったジェンダーバイアス（固定的観念）が潜み、相談したくてもできない現実が見え隠れする。そこで、本県の「男性DV被害者」の相談支援として、相談のしやすさが必要だと考えるが？

【県当局答弁】

ホットラインのDV相談実績は、年間29件ほど。相談の内容に応じて弁護士との紹介や、心療内科の受診等へ繋げているが、男性はDV被害を相談しづらいのが課題。そこで、まずはホットラインへの相談につなげるよう取組を強化する。

愛知県男性DV被害者ホットライン

080-1555-3055

080-1555-3055

質問の成果

今年度、周知カードの配布枚数を2倍以上となる約10万枚を作成！
県内各市町村の行政機関や商業施設だけでなく、新たに「コンビニエンスストアの男子トイレ」等にカードを配置。相談したい男性が周りの目に気兼ねなく、カードが手に取れるように改善！



一宮市富田山公園に「グランピング」施設が誕生！

2022年2月11日オープン！

ウッドデザインパークいちのみや-紡-(つむぎ)



一宮市富田山公園内の尾西グリーンプラザ北側約5,000㎡の敷地に、2022年2月11日「グランピング」施設を核としたアウトドア施設「ウッドデザインパークいちのみや-紡-」がオープンする。

一宮市が富田山公園再整備を民間活力を導入して進めており、ニッカホーム株式会社（本社：名古屋市）とウッドデザインパーク株式会社（本社：岡崎市）の共同企業体が業務運営を担う。計画は、グランピング用宿泊施設10棟に管理棟、BBQ施設、カフェ、イベントスペースを設置。管理棟は一宮市が世界に誇る尾州紡績の街を象徴する「のこぎり屋根」に、内装には尾州生地も使用されるという。

＊オープンまでの問い合わせは
ウッドデザインパーク宮 info-wdp138@wood-designpark.jp

SDGsとは

「持続可能な開発目標」で、誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015年の国連サミットにおいてすべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた。2030年を達成年限とし、17の目標と169のターゲットから構成。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

12 つくる責任 つかう責任

つくる責任 つかう責任 リメイク リユース リサイクル
持続可能な消費生産形態を確保する

一宮市明地
6年間の思い出が詰まったランドセルを財布などにリメイク！
株式会社 Askal カバン工房

財布&キーホルダーに生まれ変わる

ランドセル型財布、折財布、ミニランドセルキーホルダー、ベルトキーホルダー4点セット(¥22,000)
*SDGsのバッジ付き

出退勤は自由で子を持つ女性の働きやすい環境づくりと、各部署に女性リーダーを配属するなど“女性の活躍促進”に力を注ぐこの企業で、注目されているのが2017年からスタートした「ランドセルリメイクSDGsプロジェクト」。6年間使い終わったランドセルを、同社のリメイク革職人が財布やキーホルダーなどにアップサイクルするリメイク活動。現在では年間2万個の役目を終えたランドセルが持ち込まれ、思い出とともに世界でただ一つの雑貨小物にリメイク。また、リメイク後に残った部材には、尾張猿田彦神社のお清めもするところ配りも。

「ランドセルのリメイク事業で、子供への支援にもつながってほしい」と夢を語る、一般社団法人日本ランドセルリメイク協会の宮地康夫代表理事（写真左）とAskalカバン工房の大橋泰助社長。

News 名鉄百貨店一宮店4階で、令和4年1月26日～5月31日「ランドセルリメイク奉仕会」を開催予定！

一宮市今伊勢町
不用になった学生服をリユース！寄付も受付！
学生服リユース Shop さくらや愛知一宮店

不用になった学生服を買い取り、必要とする人に安価に販売する同店は、10年前に香川県高松市のシングルマザーが我が子に新品の学生服を買ってあげられなかった経験から始めた学生服のリユースショップ。同店は愛知県内では2号店として2021年1月24日にオープン。買い取る制服は上下揃っていても大丈夫で、クリーニングや補修がされたのち定価の3～4割程度、学生服上下で1万円前後で販売される。購入できるのは入学予定か通学中の児童生徒がいる家庭のみ。また、買取ではなく、子供支援のために“寄付”も受け付け、専用の回収BOXを設置。

一宮市近郊の保育園や幼稚園、小・中・高校の制服に体操服、学用品なども買取OK！

オーナーの荒木美奈子さん（右）とお母様の里美さん

子供支援のために「寄付」も受付！

すべての子供に、笑顔と夢を。

一宮市今伊勢町新神戸 字九反野36-2
TEL (0586) 82-0883
営業時間／木曜日～日曜日 12:00～18:00
定休日／月曜日～水曜日

一宮市明地
消防ホースがお洒落でタフなバッグやペンケースにリメイク！
サンライズ防災株式会社

ペット用のフリスビー
ペン立て

代表取締役の大西義明さんと、リユースデザイナーの大西未紗さん

消防・防災設備設置工事と保守点検に消火器・消防用具・防災用品の販売をするこの会社で、取り組んでいるのが「廃棄消防ホースのリユース」。消防ホースは約10年で使用期限をむかえたと新しいものに交換され、年数の経ったホースは程度の良いものでも産業廃棄物として大量に処分。そこで消防ホースの“ゼロエミッション（廃棄物ゼロ）”を目標に、丈夫で防水性に優れた消防ホースの特性を生かしてリユース製品を開発し、オンラインショップで販売。グッズはバッグやポーチ、ペンケース、ペット用品に、結合金具を使用したペン立てなど30アイテム。

*問い合わせ／TEL (0586) 59-3198 (月～土曜日の10:00～15:00)

一宮市奥町
粗大ゴミとして出された自転車をリサイクルして無料譲渡。
一宮市環境センター リサイクル展示室

一宮市内一円から粗大ゴミとして回収された子ども用自転車から婦人用自転車、サイクリング車、折りたたみ自転車などを環境センター職員が部品交換や壊れた部分を修理し“再生”後に希望する市民に抽選で無料譲渡。応募は希望車種を投票するシステムで、人気車種になるとその応募倍率は70倍！公開抽選は奇数月第3木曜日で、投票は前日までに。

展示室の一角には「作業場」があり、自転車の再生に使われる部品も、テイクバックもスプレー缶もゴミとして廃棄処分されたものを再利用。

一宮市奥町字六丁山52
一宮市環境センター北館
TEL (0586) 45-7004
開館時間／9:00～16:00
休館日／土・日曜日、12/29～1/3、5/3～5/5

15台展示中